

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	前期								
科目名	健康科学	授業形態	講義	単位数	1単位								
担当教員	宮崎 孝一郎	実務経験の有無		○									
実務経験教員の経歴	他大学での勤務												
授業のねらい (到達目標)	1.「健康」の概念の変遷を理解し、我が国における健康の諸問題が説明できる。 2.生活習慣(特に運動、栄養、休養)の在り方が、より健康になるため必要条件であることを理解し、具体事例をあげて説明できる。 3.自分のBMIや行おうとする目標運動強度、運動によるエネルギー消費量などの計算ができる。 4.自分の生活習慣を把握し、より健康になるために何が必要で、どう取り組めばいいのか説明できる。												
授業概要	健康に影響を及ぼす主要な要因(運動、栄養、休養)及び嗜好品(タバコ、飲酒)について概説する。												
テキスト	健康科学												
授業計画	第1回	健康の概念の変遷											
	第2回	我が国の健康問題											
	第3回	栄養と健康											
	第4回	食生活のバランス											
	第5回	体重と健康の関連											
	第6回	体力とは											
	第7回	運動の生理学											
	第8回	定期的な運動実践の効果											
	第9回	運動の実践											
	第10回	休養と健康											
	第11回	睡眠											
	第12回	ストレスと健康の関連											
	第13回	積極的休養											
	第14回	喫煙について											
	第15回	飲酒について											
単位認定 ・ 評価方法	中間レポート 期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		平常評価:授業態度、提出物等	総合評価算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%
期末	中間	平常	出欠										
50%	25%	10%	15%										
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する													

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	教育実習事前指導	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	熊倉 美和	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の意義、目的、心構えを学ぶ。</li> <li>・子どもと関わりながら幼児理解を深め、実践力を身に付ける。</li> <li>・指導案や日誌の書き方を理解する。</li> <li>・振り返りをし、自己評価を行い自己課題を明確にする。</li> </ul>						
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>①教育実習の意義と目的、実習生との心構えを学ぶ。</li> <li>②幼児の発達の特性や発達過程を学ぶ。</li> <li>③幼児理解や観察の視点、方法、指導案作成等の習得に努める。</li> <li>④目標を持って実習に臨む態度を育成する。</li> <li>⑤実習後、総括と自己評価を行い、課題や目標を明確にする。</li> </ol>						
テキスト	「幼稚園教育実習事前・事後指導」豊岡短期大学、「保育者の常識67」、DVD「幼児とのかかわりを考える」、「幼稚園教育要領解説」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」						
授業計画	第1回	これまでの実習の振り返り、実習意義・目的の理解、実習めあて作成					
	第2回	実習めあての作成、オリテ指導、ファイル作成					
	第3回	ねらいの立て方の指導					
	第4回	責任実習指導案の作成・構想					
	第5回	責任実習指導案の作成・構想					
	第6回	責任実習指導案の作成・構想					
	第7回	実習準備及び最終確認					
	第8回						
	第9回						
	第10回						
	第11回						
	第12回						
	第13回						
	第14回						
	第15回						
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	こども家庭支援論	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	子どもへの援助や保護者支援などの現場経験から、保育者に求められるこども家庭支援の法制度などの知識について教授する。						
授業のねらい (到達目標)	1.子育て家庭を取り巻く社会的状況を理解する。 2.保育の専門性を活かしたこども家庭支援の現状と課題を理解する。 3.子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開を理解する。						
授業概要	子育て家庭を取り巻く様々な社会的状況について把握し、保育の専門性を活かしたこども家庭支援の現状と課題について理解を深める。子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開を理解する。特別なニーズをもつ子育て家庭への支援方策として関係機関の連携等、各ニーズの特性を捉えながら学習を進める。						
テキスト	「こども家庭支援論」(豊岡短期大学)						
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	家庭支援の対象					
	第3回	家庭支援の意義					
	第4回	家庭支援の必要性					
	第5回	家庭支援の目的					
	第6回	保育所等を利用する家庭への支援					
	第7回	地域の子育て家庭への支援					
	第8回	子どもの発達をふまえた支援					
	第9回	子育て家庭を支援する専門職・機関					
	第10回	次世代育成支援に関する制度					
	第11回	子育て家庭に対する経済的支援					
	第12回	多様な子育て支援サービス					
	第13回	特別なニーズを持つ子育て家庭支援					
	第14回	世界の子育て支援					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施	授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	前期	
科目名	こどもの指導法「音楽表現」実践演習	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	寺内めぐみ・市嶋融介・林麻里子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者の学生からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。					
授業のねらい (到達目標)	音を間違え、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。					
授業概要	1～2年次に身に付けた演奏技術をさらに向上させ、保育士および幼稚園教諭に必要とされるレベルまで到達させる。特に、保育・教育に出て演奏の成果を発揮できるように実践を意識した取り組みを行う。					
テキスト	「幼児の歌110曲集」「ブルクミュラー25の練習曲」「コールユーブンゲン」					
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第2回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第3回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第4回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第5回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第6回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第7回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第8回	中間試験				
	第9回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第10回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第11回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第12回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第13回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第14回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第15回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	教育実習事後指導	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	熊倉 美和	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学で学修した知識、技術と一般的な教養を基礎として実際の教育現場で実習する。</li> <li>・経験豊かな指導教員の下で、幼児と触れ合い実習する。</li> <li>・幼稚園教諭となる為の基本的な能力と態度(個別指導、クラス指導、幼稚園行事等)を養う。</li> </ul>						
授業概要	①幼稚園教育実習の反省や評価を基に、これまで修得した専門知識を振り返る。 ②幼児の生活や発達の理解、幼児の発達を促す指導の在り方(環境構成や教師の援助)についての学修を演習を通して深めていく。 ③保育者に求められる専門的な知識が定着出来るように学びを深める。 ④幼稚園教育をめぐる諸問題及び解決のための取り組み等について知見を広げる為、事例問題についてグループで話し合い、専門性の向上を図る。						
テキスト	「幼稚園教育実習事前・事後指導」豊岡短期大学、「保育者の常識67」、DVD「幼児とのかかわりを考える」、「幼稚園教育要領解説」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」						
授業計画	第1回	実習成果の共有・振り返り					
	第2回	実習成果の共有・振り返り					
	第3回	実習成果の共有・振り返り					
	第4回						
	第5回						
	第6回						
	第7回						
	第8回						
	第9回						
	第10回						
	第11回						
	第12回						
	第13回						
	第14回						
	第15回						
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年
科目名	教育実習	授業形態	実習	単位数	4単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<p>1. 実習生の姿勢・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マナーを守り、意欲的に取り組む</li> <li>礼儀正しく、謙虚な姿勢で学ぶ</li> <li>自分から進んで質問をし、実践的な学びを深める</li> <li>実習園の特色や保育方針を理解し、課題を明確にして実習に臨む</li> <li>「今日の課題」を考察し、「明日の課題」を明確にしながら学びを積み上げようとする</li> <li>「個」と「集団」に積極的に関わり、観察し学びを深める</li> </ul> <p>2. 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の「前に立つ」ための準備をして実習に臨む</li> <li>3歳児から5歳児の発達を理解し実習に臨む</li> <li>保育におけるPDCAサイクルを理解する</li> <li>ピアノや絵本の読み聞かせなど、保育技術を磨いて実習に臨み、実践の場においてさらなる向上を目指す</li> <li>幼児の言動から心情を感じとりながら、関わる事ができる</li> </ul> <p>3. 実習日誌</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各年齢の発達の特徴や保育の流れやつながりを理解して時系列に記録ができる</li> <li>幼児に対する保育者の働きかけを具体的に記録できる</li> <li>幼児の姿を観察し、場面の記録を書くことができる</li> <li>「気づき」を書く事ができる</li> <li>保育者の意図を感じ取り「学び」や「気づき」を書くことができる</li> <li>「個」と「集団」の姿を記録できる</li> <li>幼児との関わりを詳細に記録し、省察することができる</li> </ul> <p>4. 指導案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※教育実習Ⅰでは、記録に重点を置き、指導案は教育実習Ⅱの課題とする</li> <li>子どもの姿を予測し、配慮事項や留意点を挙げる事ができる</li> <li>導入、展開、まとめを一連の流れとして立案できる</li> </ul> <p>5. 手続きと提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>期日を守り、自主的に進められる</li> <li>期日を確認し、計画的に進められる</li> </ul>				
授業概要	<p>実際に幼稚園の生活を体験する中で、園生活の流れと幼児の生活、発達の姿、幼稚園教諭の職務を理解できるように指導する。</p> <p>教育実習Ⅰでの経験を基礎として、観察や指導案に基づいた実践を行う。幼稚園の教育理念や教育課程を把握し、「個」と「集団」の理解、幼稚園教諭の職務に対する理解等がさらに深まるよう指導する。また、指導案を作成し実践的な体験を通して学べるよう指導する。</p>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の等の基準に基づく)及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)
科目名	保育実習ⅡⅢ	授業形態	実習	単位数	2単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・認定こども園の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実習生の姿勢態度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の方針を理解の上、保育者と子ども・利用者とのかかわり方を学び、適切に行動する</li> <li>・現場で働くことを意識しながら保育実習の経験を活かし主体的に動く。</li> </ul> </li> <li>●知識、技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼関係を気づくための技術を身につける</li> <li>・施設(施設・保育所)の役割と社会的な位置づけを知り、理解に繋げる</li> </ul> </li> <li>●実習記録 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや利用者とのかかわりから保育士の意図を感じ取り「学び」や「気づき」を書くこと出来、深く考察する</li> <li>・「個」と「集団」それぞれの姿の違いを記録できる</li> <li>・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる。</li> </ul> </li> <li>●指導案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる。</li> </ul> </li> <li>●提出物 <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰が見ても分かる書き方や誤字脱字のない記録や指導案の作成</li> <li>・期日を守って提出する</li> </ul> </li> </ul>				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会福祉施設における実習を通して施設における子ども・利用者の生活をりかいするとともに、様々な職種の連携について知り、保育者士として必要な支援技術の向上を目指し、指導する。</li> <li>●授業等で得た知識や技能を最大限に活かし総合的な実践ができるようにする。</li> </ul>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習先による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	子育て支援	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談・助言・情報提供等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解し身につける。 子育て支援の意義や役割について理解し、保育者としての子育て支援の基本姿勢について関心を持ち、子育て支援の意義や役割、基本姿勢など支援の実際を学ぶ。						
授業概要	保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解するとともに、保育士の行う子育て支援の展開を学ぶ。						
テキスト							
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	保育の専門性と子育て支援					
	第3回	保護者に対する子育て支援					
	第4回	ソーシャルワーク理論					
	第5回	保育士の行う子育て支援(方法)					
	第6回	保育士の行う子育て支援(技術)					
	第7回	共感的理解、傾聴(演習)					
	第8回	非言語コミュニケーション(演習)					
	第9回	リフレーミング(演習)					
	第10回	自己覚知(演習)					
	第11回	価値観(演習)					
	第12回	記録(演習)					
	第13回	社会資源(演習)					
	第14回	事例分析①					
	第15回	事例分析②					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	乳幼児保育Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	原田 明子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	私立乳児園、保育園での勤務経験から、現場で求められる乳児保育担当者の資質・能力が培われるよう実践的指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解する。						
授業概要	1. 観察実習を通し、3歳未満児の発達やそれに沿った保育者の関わりを知る 2. 観察実習でのエピソード記録から、子どもの言動や保育者の関わりの意図を個人、グループ、クラス全体で考察する。 3. 養護が教育の一部であること、すべての経験が学びとなっていることを理論的に考察する。						
テキスト	豊岡短期大学「乳幼児保育」・保育所保育指針・日本が誇る丁寧な保育						
授業計画	第1回	乳児保育の基本 乳児の特徴					
	第2回	養護と教育の一体化					
	第3回	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿と乳児保育					
	第4回	乳児の発達① グループワーク					
	第5回	乳児の発達② グループワーク					
	第6回	乳児の発達③ グループワーク					
	第7回	乳児の発達④ グループワーク発表					
	第8回	単位認定試験					
	第9回	模擬保育指導案 立案①					
	第10回	模擬保育指導案 立案②					
	第11回	模擬保育指導案 グループ討議					
	第12回	模擬保育準備①					
	第13回	模擬保育準備②					
	第14回	模擬保育					
	第15回	模擬保育					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	前期	
科目名	保育・教職実践演習	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	1. これまで修得した保育の専門知識の振り返りによって保育の専門的基礎力の定着を図る。 2. 専門的知識技能の実践への応用、課題解決能力を高める。					
授業概要	現在の保育実践上の課題、子どもや子育てに関わる環境上の諸問題を自ら発見し、その改善に向けての方策を考える。 問題発見能力、課題解決能力、実践への積極的態度を養うため、現在の保育問題(少子化、保育制度、子育て支援、幼小連携等)について調べ、身近な具体的課題を設定し、テーマ毎に研究、グループ討議、研究発表を行う。					
テキスト	配布資料					
授業計画	第1回	保育者の専門性とは何か				
	第2回	日本における保育実践上の課題について① 児童福祉行政における問題点				
	第3回	日本における保育実践上の課題について② 児童虐待				
	第4回	日本における保育実践上の課題について③ 多文化保育				
	第5回	日本における保育実践上の課題について① 統合保育				
	第6回	日本における保育実践上の課題について① 児童虐待				
	第7回	グループ討議① 保育における地域との連携について				
	第8回	グループ討議② 現代の保護者の子育て意識と保育施設、保育者の役割について				
	第9回	グループ討議③ 都市化現象が子どもの生活と発達に及ぼす影響について				
	第10回	グループ討議④ 保護者支援の方法について				
	第11回	グループ討議まとめ 模擬授業①				
	第12回	グループ討議まとめ 模擬授業②				
	第13回	グループ討議まとめ 模擬授業③				
	第14回	子どもの遊びを豊かにする環境構成、材料、保育者の関わりについて				
	第15回	まとめ 保育者に求められる質とは何か				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)		
科目名	教材研究Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	笹川 英雄	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育現場 3年6ヶ月						
授業のねらい (到達目標)	子どもの姿を想像し、対象年齢も考慮に自分なりの工夫を加えて保育グッズを作る 様々なジャンルの保育技術をグループで調べ合い伝え合う中で学びを共有し、広く深く習得する						
授業概要	創意工夫を加えて保育グッズ作りをし、実演して学び合う 子どもに身近な絵本の中に見られるSDGsについて考え、話し合い発表しあって理解を深める 新聞紙あそび・科学あそび・折り紙・手あそびなど様々なあそびについて更に広く学び合う						
テキスト	なし						
授業計画	第1回	自己紹介・グループミーティング・アンケート/保育教材・アイテムの紹介					
	第2回	1日の場面に応じた保育グッズの応用/保育グッズの理解を深める					
	第3回	季節のものを入れた保育グッズ制作/今まで制作したグッズの応用/ミニ発表					
	第4回	部分実習応用の保育グッズ制作・年齢に応じた保育グッズの知識理解/ミニ発表					
	第5回	振り返り/食育の保育グッズ制作					
	第6回	何も持たずにできる発展系(手遊び・リズム遊び・体操・ダンスなど)					
	第7回	保育室で演じられるスキマ時間シアターの制作/ミニ発表					
	第8回	ホールで演じられる出し物シアターの制作/ミニ発表					
	第9回	実習直前の確め/1日の流れに沿った保育グッズの必要性の正しい理解					
	第10回	振り返り・学び・反省の共有/ミニ人形劇・題材ぎめ					
	第11回	保育グッズ制作(不審者訓練や避難訓練等)/ミニ人形劇・台本作り					
	第12回	保育グッズ制作(日付表やお天気グッズ等)/ミニ人形劇制作					
	第13回	ミニ人形劇制作・音決め					
	第14回	ミニ人形劇制作プレ発表					
	第15回	ミニ人形劇発表					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)		
科目名	教材研究Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	笹川 英雄	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育現場 3年6ヶ月						
授業のねらい (到達目標)	新社会人に向け、幼児理解を深めながら、こどもに寄り添った教材研究を行い、見通しを持って制作を行い、演じる。						
授業概要	創意工夫を加えて保育グッズ作りをし、実演して学び合う 子どもに身近な絵本の中に見られるSDGsについて考え、話し合い発表しあって理解を深める 新聞紙あそび・科学あそび・折り紙・手あそびなど様々なあそびについて更に広く学び合う						
テキスト							
授業計画	第1回	人形劇/出し物系シアターの練習					
	第2回	大きな行事に向けた出し物作り(複数人で一組※音楽・ピアノなど使用)					
	第3回	出し物の発表					
	第4回	秋の素材を使った遊びと制作					
	第5回	パネルシアターの制作					
	第6回	人形劇・シアター制作					
	第7回	人形劇・シアター制作					
	第8回	人形劇・シアター制作					
	第9回	人形劇・シアター制作/発表					
	第10回	未満児/以上児の正しい理解を深める					
	第11回	行事シアターの作り方、演じ方					
	第12回	交通安全教室・幼年消防クラブの伝え方、制作					
	第13回	新年度グッズの制作/日付表					
	第14回	新年度グッズの制作/お当番表/お天気表					
	第15回	春からの新社会人に向けて					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

2025年度

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)			
科目名	情報処理Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位			
担当教員	金子 貴之	実務経験の有無	○					
実務経験教員の経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT、ビジネス、ゲームの学科でIT技術、プログラミング、簿記、CGなどの科目を33年間担当</li> <li>日常業務でExcel、Word、Webサービスなどを使用している</li> </ul>							
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>WordやPowerpointで「見やすく、読みやすく、わかりやすい」資料が作成できるようになる</li> <li>就業先で業務利用や些末なトラブル対応ができるだけのICTスキルを身につける</li> </ul>							
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に取り組みながらOfficeの基本操作を習得し、AIや便利なサービスを体験する</li> <li>資料作成におけるレイアウトやデザインの基本ルールを習得する</li> <li>各課題は授業時間内で終わるボリュームとする</li> </ul>							
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>おたより文例&amp;イラストカット集</li> <li>できるPowerPoint2016</li> </ul>							
授業計画	第1回	オリエンテーション						
	第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト第0章</li> <li>PCスキルやタイピング速度の確認</li> </ul>						
	第3回	【課題1】Powerpointにてスライド作成(好きなモノやコトを紹介)						
	第4回	課題1の講評(プロジェクタで投影して全員に対して行う)						
	第5回	【課題2】Wordにて文書作成(6月の園だより[A4片面])						
	第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題2の講評(紙で配布して全員に対して行う)</li> <li>テキスト第1章、第2章、第3章</li> </ul>						
	第7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト第4章(スライドデザイン)、第5章(文字の書式設定)</li> <li>【課題3】履修内容の復習</li> </ul>						
	第8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト第6章(表)、第7章(グラフ)</li> <li>【課題4】履修内容の復習</li> </ul>						
	第9回	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト第8章(図形)、第9章(アイコン、図表)</li> <li>【課題5】履修内容の復習</li> </ul>						
	第10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト第10章(画像、動画)</li> <li>【課題6】履修内容の復習</li> </ul>						
	第11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト第11章(アニメーション)</li> <li>【課題7】履修内容の復習</li> </ul>						
	第12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題3の構成検討(同一の実習先でも個人で考える)</li> <li>【課題8】スライド作成(教育実習の報告)</li> </ul>						
	第13回	【課題8】スライド作成(教育実習の報告)						
	第14回	【課題9】Wordにて文書作成(イベントの案内状[A4横両面二つ折り])						
	第15回	【課題10】Wordにて文書作成(こども祭りのチラシ[A3片面])						
単位認定 ・ 評価方法	課題評価: 課題の提出状況、完成度		総合評価 算出基準		期末	課題	平常	出欠
	平常評価: 授業態度				-	75%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

2025年度

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)		
科目名	情報処理Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	金子 貴之	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT、ビジネス、ゲームの学科でIT技術、プログラミング、簿記、CGなどの科目を33年間担当</li> <li>日常業務でExcel、Word、Webサービスなどを使用している</li> </ul>						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>WordやPowerpointで「見やすく、読みやすく、わかりやすい」資料が作成できるようになる</li> <li>就業先で業務利用や些末なトラブル対応ができるだけのICTスキルを身につける</li> </ul>						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に取り組みながらOfficeの基本操作を習得し、AIや便利なサービスを体験する</li> <li>資料作成におけるレイアウトやデザインの基本ルールを習得する</li> <li>各課題は授業時間内で終わるボリュームとする</li> </ul>						
テキスト	なし						
授業計画	第1回	Googleの様々なサービスについて					
	第2回	WordとGoogleドキュメントによるビジネス文書作成					
	第3回	WordとGoogleドキュメントによるビジネス文書作成					
	第4回	WordとGoogleドキュメントによる様式作成					
	第5回	ExcelとGoogleスプレッドシートによる様式作成					
	第6回	ExcelとGoogleスプレッドシートによる関数の活用					
	第7回	ExcelとGoogleスプレッドシートによる関数の活用					
	第8回	様々なWebサービスについて					
	第9回	Canvaの基本操作					
	第10回	Canvaの基本操作					
	第11回	【課題】名刺制作					
	第12回	【課題】掲示物制作					
	第13回	【課題】合成音声を用いた動画制作					
	第14回	【課題】合成音声を用いた動画制作					
	第15回	【課題】合成音声を用いた動画制作					
単位認定 ・ 評価方法	課題評価:課題の提出状況、完成度  平常評価:授業態度		総合評価 算出基準	期末	課題	平常	出欠
			-	75%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)
科目名	実習指導Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位
担当教員	熊倉 美和	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・認定こども園での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日誌の書き方、指導案の立て方を確認して考察や「活動」を多方面から考える</li> <li>・卒業後の自分の姿を見据えて実習の振り返りをし、課題や反省点を明確にする。</li> <li>・見通しを持ち場面に対応して動く力や相手に伝える力を身につけるなど保育者としてのスキルアップに繋げる</li> </ul>				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。</li> <li>・振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。</li> <li>・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める</li> <li>・状況に合わせて園・施設の見学を行い実践的保育の体験から実習に繋げる</li> </ul>				
テキスト	実習のしおり・保育者養成実習ガイド・発達と保育(乳児・幼児)・配布プリント				
授業計画	第1回	これまでの実習の振り返り・実習意義や目的の理解・めあての作成			
	第2回	めあての作成・オリテの内容確認・ファイルの作成			
	第3回	日々のねらいの立て方・考察や反省を生かしての日誌の書き方を確認する			
	第4回	責任実習案の構想及び作成・日誌の書き方を確認			
	第5回	責任実習案の構想及び作成・日誌の書き方を確認			
	第6回	責任実習案の構想及び作成・日誌の書き方を確認			
	第7回	責任実習案の構想及び作成・日誌の書き方を確認			
	第8回	教育実習の振り返り・成果の共有			
	第9回	保育実習ⅡⅢの意義や目的について確認し、めあての作成をする			
	第10回	めあての作成・オリテの内容確認・ファイルの作成			
	第11回	日々のねらいの立て方・考察や反省を生かしての日誌の書き方を確認する			
	第12回	指導案素案作成及び未満児の観察実習			
	第13回	指導案素案作成及び未満児の観察実習			
	第14回	指導案素案作成及び未満児の観察実習			
	第15回	指導案素案作成及び未満児の観察実習・実習の準備完了確認			
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)		
科目名	実習指導Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	熊倉 美和	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・認定こども園での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日誌の書き方、指導案の立て方を確認して考察や「活動」を多方面から考える</li> <li>・ 卒業後の自分の姿を見据えて実習の振り返りをし、課題や反省点を明確にする。</li> <li>・ 見通しを持ち場面に対応して動く力や相手に伝える力を身につけるなど保育者としてのスキルアップに繋げる</li> </ul>						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。</li> <li>・ 振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。</li> <li>・ 部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める</li> <li>・ 状況に合わせて園・施設の見学を行い実践的保育の体験から実習に繋げる</li> </ul>						
テキスト	実習のしおり・保育者養成実習ガイド・発達と保育(乳児・幼児)・配布プリント						
授業計画	第1回	指導案作成・実習の詳細についての確認					
	第2回	保育実習ⅡⅢの振り返りから成果の共有					
	第3回	実習の振り返りをまとめる					
	第4回	保育実習ⅡⅢ事後レポートの作成					
	第5回	連絡帳記入について					
	第6回	連絡帳記入について					
	第7回	ヒヤリハット記入について					
	第8回	ヒヤリハット記入について					
	第9回	行事予定の立て方					
	第10回	行事予定の立て方					
	第11回	諸帳簿の記入について(年間計画・月週案)					
	第12回	諸帳簿の記入について(年間計画・月週案)					
	第13回	模擬保育の実施					
	第14回	模擬保育の実施					
	第15回	模擬保育の実施					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施	授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							